

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	地下街の避難対策調査経費		担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	街路交通施設課		課長 清水 喜代志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 11 住宅・市街地の防災性を向上する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地下街は、全国の拠点駅等に存在し、利用者も多数に上っており、首都直下地震等の大規模地震が発生した場合には、避難の際に混乱状態となることが懸念されるため、安心して避難できるよう避難対策の取組を進める必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	避難路となる通路の安全点検や災害時の避難シミュレーションによる被害発生予測等を踏まえ、隣接ビルや駅等との連携も含めて必要な対応策を検討する。 ○有識者等による検討会を設立し、安心避難対策を検討 ・避難路の安全点検、安全性評価 ・災害時の避難シミュレーション分析による被害予測検討 ・隣接ビルや駅等との連携も含め、避難対策の検討(ソフト、ハード) ・安心避難ガイドラインの策定							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算				95		
		補正予算				0		
		繰越し等				0		
	計					95		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本調査は、地下街の安全点検・安全性評価を行うとともに、避難シミュレーションにより想定された被害の軽減対策を検討し、「安心避難対策ガイドライン」を策定するものであり、成果指標を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本調査は、地下街の安全点検・安全性評価を行うとともに、避難シミュレーションにより想定された被害の軽減対策を検討し、「安心避難対策ガイドライン」を策定するものであり、活動指標を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
								-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	住宅・市街地防災対策調査費	95						
	計	95						

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	地下街は全国の拠点駅等に存在し、利用者も多数に上っている。首都直下地震等の大規模地震が発生した場合には、避難の際に混乱状態となることが懸念されるため、安心して避難ができるよう国で避難対策の取組を進めるものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-	発注先の選定にあたっては、透明性・公平性の確保を図るため、企画競争の手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、提案の特定にあたり局内企画競争委員会による審査を行っている。	
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	<p>首都直下地震等の大規模地震が発生した場合、地下街では避難の際に混乱状態となることが懸念されるため、避難路となる通路の安全点検や災害時の避難シミュレーションによる被害発生予測等必要な対応策を検討し、安心して避難できるよう避難対策の取組を進める必要がある。</p> <p>発注先の選定にあたっては、透明性・公平性の確保を図るため、企画競争の手続きにおいて、企画提案書の評価にあたり匿名評価方式で書類評価を行うとともに、提案の特定にあたり局内企画競争委員会による審査を行っている。</p>			

外部有識者の所見

--	--

行政事業レビュー推進チームの所見

--	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

--	--

備考

--	--

関連する過去のレビューシートの事業番号

	平成22年	平成23年	平成24年	
--	-------	-------	-------	--

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
95百万円

- 地下街は、全国の拠点駅等に78箇所存在し、来街者が10万人以上となる地下街も多数存在。
- 大規模地震発生時には、地下街において、地上への出入口や階段等に殺到することによる混乱、転倒・負傷等の事態が生じる懸念。



【企画提案による随意契約】

地下街等における安心避難対策に関する調査検討業務共同提案体
95百万円

- 有識者等による検討会を設立し、安心避難対策を検討
- 避難路の安全点検、安全性評価
 - 災害時の避難シミュレーション分析による被害予測検討
 - 隣接ビルや駅等との連携も含め、避難対策の検討(ハード、ソフト)
 - 安心避難ガイドラインの策定

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.地下街等における安心避難対策に関する調査検討業務共同提案体			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	地下街等における安心避難対策に関する調査検討業務	95			
計		95	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	地下街等における安心避難対策に関する調査検討業務共同提案体	地下街等において大規模地震発生時の避難に混乱等が生じないよう、避難路となる通路の安全点検や災害時のシミュレーションによる被害予測等を踏まえ、隣接ビルや駅等との連携も含めて、利用者の安心避難のための対応策を検討し、ガイドラインを策定する	95	随意契約 (企画競争)	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					